

保健体育科で育成を目指す資質・能力

## 【保健体育科で育成する人間の強み】

運動の特性をとらえ、身体を動かすことでわかる感覚を大切にして、スポーツ実践していく**かかわり方を見出すこと**

思考力等	協調性等	主体性等
課題解決に向けて、知識を活用し、基本的な技能を身に付け、運動の取り組み方を工夫し、運動を継続して楽しむための自己の適したかかわり方を見付ける力	他者の意見に耳を傾け、知恵をもち寄って共通の課題を達成していく力	自らの学習の目標をもち、進め方を見直しながら学習を進め、粘り強く取り組む力

## 【目指す生徒像】

「運動・スポーツを主体的に実践し、仲間とかかわりながら課題解決し、楽しみを共有できる生徒」

## 研究の視点

### ①「真正の学び」の場

### ③「情報・情報技術の効果的な活用」

#### ■自己肯定感の高まる場の設定

運動の特性をとらえる力

#### ■課題提示場面（より自分の課題を意識させる）

失敗してもいい

自分もやればできそうだなあ

**支える**

自分の学びを振り返る力

#### ■課題解決場面

- ・撮影した自分の動きを振り返り、理想の動きと比較し、課題を見付ける。
- ・仲間と分析し、次の活動を考える。
- ・必要な情報を集める。（家での学習、予習→ICT活用）

する

温かい雰囲気  
共生の視点

みる

仲間とかかわり解決する力

#### ■評価場面

- ・自分の学びを蓄積し、変化を自覚する。
- ・仲間の学びを共有する。
- ・学習成果を教師が記録し、蓄積する。

知る

練習方法を選択する力

課題を把握する力

#### ■Try and Errorしながら粘り強く取り組む姿勢が養われる場の設定

### ②学びの自覚化

①3年間の見通しをもった年間指導計画の作成

カリキュラム・マネジメント

②他教科と目指す姿の共有  
→資質・能力の効果的な向上を目指す

★2年間の見通し  
1・2年生の種目で教えるべき観点を整理し、効果的に3年生につなげる

◎3年生  
生涯にわたる豊かなスポーツ実践の基礎を養う

## 生徒の実態（学習活動）

（運動習慣の二極化、みんなのできるようになるとういうかかわりが弱い、課題解決の方法が明確になっていない）